

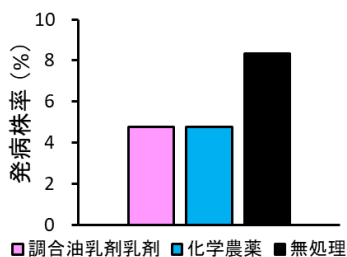
油脂系気門封鎖剤は 多くのトマト病害虫に有効です

油脂系気門封鎖剤は、殺虫効果だけでなくタバコナジラミの忌避、産卵抑制、交尾阻害といった新たな作用を持つことを発見しました（平成30年度研究成果参照）。

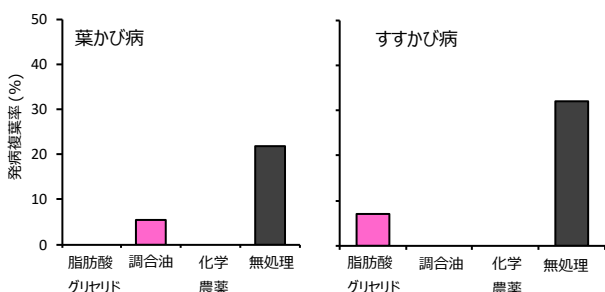
トマトの様々な病害虫に対する防除効果試験の結果、多くの主要病害虫に対する防除効果があることが明らかになりました。

1. トマト黄化葉巻病が減少します

タバコナジラミが忌避するので、本虫が媒介するトマト黄化葉巻病が減少します。



2. トマト葉かび病、すすかび病を抑制します



3. うどんこ病、トマトサビダニも防除できます

※ うどんこ病、トマトサビダニは、すでに農薬登録済み

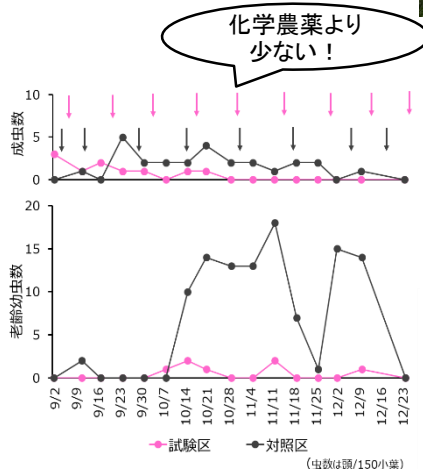
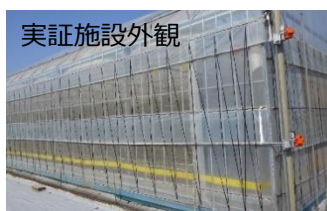


◎ 栽培施設での実証

岐阜県就農支援センターのトマト施設で実証しました

＜施設条件＞
0.4mm目合いの防虫ネットや黄色粘着板などを設置し、コナジラミの侵入対策を実施

実施期間：2019年8～12月
品種：桃太郎ネクスト
試験区：調合油乳剤
（300倍を14日間隔で散布）
対照区：化学農薬による慣行防除



トマト黄化葉巻病の発病

発病株率

試験区 1.1%

慣行区 0.9%

(12/23時点)

トマトすすかび病の発病

発病株率

試験区 1.1%

慣行区 1.7%

(9/24時点; 最多発時)

タバコナジラミの発生消長
矢印はそれぞれの散布を示す

その他の病害虫も発生に差なし！

(研究成果)

- ・ 油脂系気門封鎖剤（脂肪酸グリセリド乳剤、調合油乳剤等）は、タバコナジラミの忌避効果等によりトマト黄化葉巻病を抑制できます。
- ・ 油脂系気門封鎖剤は、登録のあるうどんこ病やトマトサビダニのほか、トマト葉かび病、すすかび病も抑制し、多くのトマト主要病害虫防除に有効であることが明らかとなりました。
- ・ 防虫ネット等の侵入対策を施した上で、油脂系気門封鎖剤を継続的に散布すれば、トマト主要病害の発生を抑制できると考えられます。

(岐阜県農業技術センター 病理昆虫部)